

【2025年11月10日】

《在瀋陽日本国総領事館訪問》

市長訪問団とともに、浜田 隆 総領事を表敬訪問し、瀋陽市を中心とした現地の情勢について、以下の通り説明を受け、意見交換を行った。

瀋陽市の人口は924万人(2024年末)、面積は1万2,860平方キロメートルと札幌市の約11倍の規模となる。日本の友好都市は、1980年に札幌市と初めて締結して以降、川崎市、輪島市、網走市、浜松市、佐世保市の計6都市と交流を深めている。

瀋陽市における主要産業は、旧満州時代から重工業が盛んであるが、現在は自動車や機械製造、ロボットなどの産業も集積している。特にドイツ自動車大手のBMWとの合弁会社「華晨BMW」による自動車製造や、中国を代表する「新松」社のロボット製造などがある。

日本企業の進出としては、安川電機やNSK、ローソンなどがあり、特にローソンは2019年に出店して以来、中国人の消費動向を敏感に捉えた販売戦略を展開し、現在は遼寧省全体で約750店舗と着実に拡大している。なお、瀋陽市には日系企業を集めた産業コミュニティエリアである「瀋陽万科中日産業圏」があり、企業誘致推進を積極的に進めているとの説明があった。

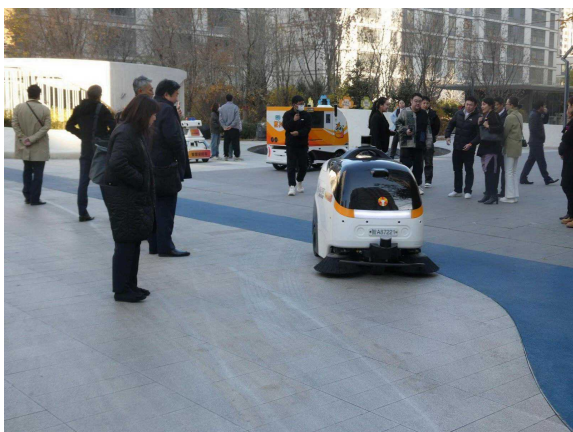
次に、現在力を入れている政策について説明があり、2024年11月に、中国国務院がウィンタースポーツの活性化を通じて、冰雪経済の規模を2030年までに1兆5,000億元とする目標を提示した。これを受け、東北エリアの遼寧省、吉林省、黒竜江省がそれぞれ、ウィンタースポーツや冬季観光に力を入れている。瀋陽市においても、中心部から約50km離れた「北東アジアスキー場」では、手ぶらで訪れても全ての用具をレンタルできるなど、サービスの充実を図り集客に力を入れているとのことであった。

今回の訪問に際し、村上団長から「このたびの瀋陽市への訪問で、瀋陽市の技術革新の状況や魅力を体験し、様々なことを学ばせていただきながら交流を深めていきたいと考えております。今回の訪問を一つの契機とし、両市の絆がより強いものになるよう努めてまいりますので、今後も総領事館のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。」と挨拶した。



## 《無人自動運転車両関連企業視察》

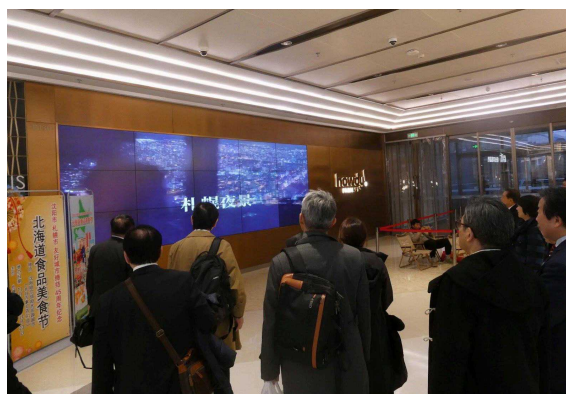
瀋陽市直属の国有投資機関が出資し、2022年に設立された無人自動運転車両関連企業「瀋陽御旷科技有限公司」を視察した。今回視察した無人自動運転車両は、分譲マンション敷地内における住人専用の移動を目的として計2台が運用されている（視察時点では1台のみ稼働）。車両は6人乗りで、走行速度は人が歩く程度に設定されており、カメラやセンサーで歩行者等を検知した場合は自動停止するなど、安全対策が講じられていた。このほか、飲料水を販売する無人車両も同敷地内で運用しており、住人がスマートフォンで敷地内の指定場所まで車両を呼び寄せ、購入することができるシステムなどを視察した。



## 《フードフェア訪問》

瀋陽市のスーパーマーケット「哈爾信(ハルシン)」で、11月10日から23日にかけて開催中の、北海道の食品輸出プロモーションを目的としたフードフェアを訪問した。

本イベントは、札幌市経済観光局が主催し、札幌や北海道の「食」をテーマとした様々な商品の紹介・販売が行われていた。会場では、販売ブース近くの大型スクリーンでイベントや札幌を紹介する映像が放映されるなど、現地スーパーの協力のもと、瀋陽市民に向けた積極的なプロモーションが展開されていた。



【2025年11月11日】

《瀋陽市人民代表大會常務委員會副主任表敬訪問》

瀋陽市人民代表大會常務委員會庁舎において、瀋陽市の議会にあたる人民代表大會(以下「人代」という。)常務委員會の李松林(リ ショウリン)副主任を表敬訪問した。

人代からの出席者は、副主任のほか、袁立斌 人代民族・華僑・外事委員會 主任委員、劉淑雲 人代民族・華僑・外事委員會 副主任委員、葉航 市人民政府外事弁公室 副主任、劉雪昌 人代民族・華僑・外事委員會 專任副主任委員、張海波 市外事弁公室 機關黨委員會 專任副主任、王夕雨 人代民族・華僑・外事委員會 監督處處長が出席した。

はじめに、李松林副主任から「瀋陽市人代は1954年に設立され、現在17期目で57名により構成されている。瀋陽市と札幌市は友好都市提携45周年を迎え、このたび村上団長をはじめ、多くの札幌市議会議員の皆様が瀋陽市を訪問したことを心より歓迎いたします。これを機に、より一層の交流が増すことを期待しており、訪問団の皆様との友情を深めたいと感じています。」との挨拶があった。

これに対し、村上団長から「1980年に友好都市として提携が始まり、その間、文化、教育、経済、技術面など様々な分野で交流を深め、絆を築いてまいりました。今回の訪問を通して、多くのことを学ぶとともに、瀋陽市の皆さまとの交流を深め、両市の繋がりがより強固なものになることを期待しております。」と返礼の挨拶を述べた。

その後の意見交換では、人代側より、環境都市としての取り組みについて、「15年前に初めて地下鉄が出来て以来、現在では5路線が運行するなど公共交通機関の推進を行ってきたことや、石炭の使用を抑えたエネルギーの転換を図り、環境に配慮した政策に力を入れてきた。」との話があり、また、ウインタースポーツの活性化の取り組みについて、「瀋陽市は8つのスキー場がある。雪質の良さや手頃な価格設定などで集客に努めている。札幌のスキー場にも、ぜひ訪れてみたい」との発言があった。

最後に、今後の両市の更なる友好関係の構築と発展を確認し合い、訪問は終了した。



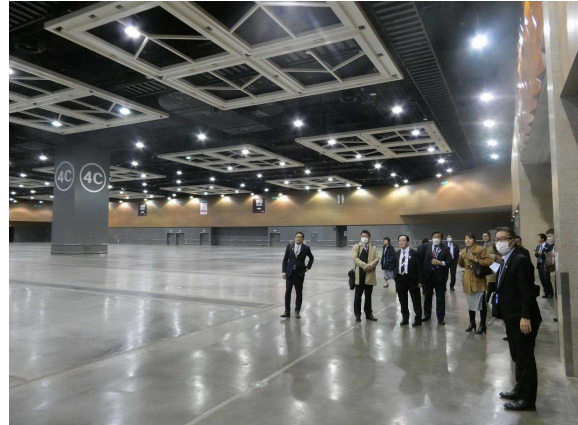
## 《瀋陽新世界博覧館(瀋陽ニューワールドエキスポ)視察》

2017年3月にオープンした中国北東部における大規模な会議や展示会を開催可能な国際展示場である「瀋陽新世界博覧館」を訪問した。

当施設は、最大2万平方メートルにもなるコンベンションホールを有しており、大小様々な会議や展示会、イベントなどに対応するための会議室や宴会スペース、設備を整えている。

また、ホテルやレストラン、ショッピングモールが併設され、地下鉄駅にも接続していることから、会議出席者のみならず観光客も簡単にアクセスできる立地に整備されている。

札幌市や瀋陽市などが会員となっている「世界冬の都市市長会」の会議が、2018年に瀋陽市で開催された際の会場にもなっているほか、これまで多くの国際会議が行われているとの説明があった。



## 《周年記念イベント「Hello,瀋陽」への参加》

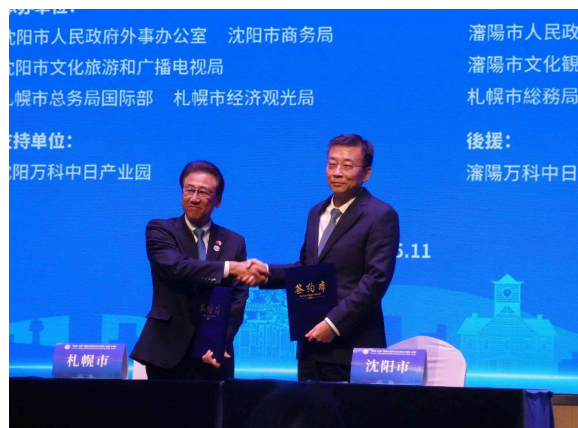
市長訪問団、経済訪問団とともに、札幌市・瀋陽市の友好都市提携45周年の記念イベントである「Hello,瀋陽」に参加した。

イベントには、秋元市長、呂志成(リョ シセイ)瀋陽市長、浜田総領事のほか、瀋陽市関係者、札幌市訪問団も出席し、総勢約150名が出席した。

秋元市長、呂市長、浜田総領事から、それぞれ挨拶があり、両市のこれまでの友好都市交流の足跡を記録した動画が放映されたほか、瀋陽市、札幌市それぞれがシティプロモートを行っていた。

また、「北海道フードフェア」の開催に合わせ、同施設内において、道産食品の魅力を紹介するブースも設けられていた。

最後に両市長が、「日本国札幌市と中華人民共和国瀋陽市友好交流と協力のさらなる強化に関する覚書」の調印を行い、閉幕した。



#### 《45周年記念レセプションへの参加》

市長訪問団及び経済訪問団とともに、瀋陽市が主催する45周年記念レセプションに参加した。

レセプションでは、呂市長、秋元市長が挨拶を行い、両市の友好提携45周年を祝い、更なる友好関係の構築を確認した。

瀋陽市関係者のほか、瀋陽市人代常務委員会の李松林副主任、浜田総領事も出席し、札幌市訪問団と瀋陽市関係者が互いに親交を深めながら盛大に開催された。